

YMCA News



一般財団法人鹿児島YMCA
鹿児島市真砂町34-6-209
TEL 099-296-7901
FAX 099-296-7902
発行人：新内博之
編集：大平さやか

【鹿児島YMCAの使命】

生涯を通して学び、心豊かな人づくりのために働きます
人と自然が共生できる地球環境をつくるために働きます
心身ともに健康にらせる社会をつくるために働きます
愛に満ち、痛みを分かち合える社会をつくるために働きます
そして、私たちの活動を通じて、鹿児島、日本、さらに、世界の人たちに 命と平和の尊さを伝えます。

「御挨拶」

鹿児島YMCA理事

神村 浩

YMCAに関わっておられる役員の皆様、現場で活躍しておられる職員の皆様、その他多くの関係者に御挨拶申し上げます。

鹿児島YMCAが設立され13年が立とうとしております。思えば13年前、今は亡き谷村義博氏の努力で組織らしいものが出来ました。

谷村氏が亡くなった時、これで全てが終わったと思ったのですが、そこに何となく立っていたのが新内氏でした。当時の私は「この男は何なんだろう」程度しか認識がありませんでした。ところが、この若い男が我々を導き始めたのです。我々もその事になんの違和感を感じませんでした。なんと、その男があらゆる難関をクリアーし、本年6月、見事に総主事として就任いたしました。

その間、埴雄二氏には熊本の自宅を離れ2年間も総主事として、鹿児島の地でその責任を果たして頂きました。その役目を見事に完遂された埴氏には深く御礼申し上げます。

新内総主事には鹿児島YMCAに大きく寄与する存在であると同時に、将来日本のYMCAへ大きな影響を与える時が来るはずで。また目の前には「児童健全育成事業」と云う新しい事業が控えております。この事業も愛と共に研究心が必要と思われます。真に児童育成に貢献できると信じております。

これからも鹿児島YMCAにふさわしい、新たな歩みが始まりますが、常に地域社会の課題に向かい合い、キリストの愛と奉仕の業に励んでいただきたいと思います。

写真左

かみむら珈琲

ワイズメンズクラブで取り組んでいる「おにぎりの会」で利用させていただいています。

写真右

美味しいコーヒーを入れてくださる神村さん



総主事通信

2年に1回開催されるYMCA大会。今年、新型コロナウイルス感染拡大以降、初めての集合型とオンライン参加のハイブリッド型式で実施されました。約200名の参加者が全国各地から集まり、鹿児島からも2名が参加しました。このYMCA大会、主役は大学生を中心としたユースリーダーたちであり、実行委員として大会を企画し運営まで行っているのです。

全国のYMCAには実に多くのユースリーダーがいます。その役割は様々です。子どもたちにスポーツや勉強などプログラムスタッフとして教えているリーダー、キャンプなどに一緒に参加してサポートするリーダー、ボランティア活動、社会活動にリーダーとして参画しているケースもあります。このユースリーダーたちは、小さいころからYMCA会員として育ってきた人、将来教育系の仕事につきたく現場を学びたいという人、子どもたちが大好きで関わることをしたい人、社会に役立つことをしたい人など、様々な理由をもって日々YMCAで活動しています。

YMCAの歴史は、実に150年以上にもなります。そのYMCAの歴史はユースによって始まったのです。YMCAの創始者であるジョージ・ウィリアムズは、1821年10月11日にイギリスのサマーセットにて生まれました。

1836年から1841年まで、ウィリアムズはロンドンにあるHitchcock & Rogersの店で服の仕立屋の見習いとして働き続けました。彼は、店と同じ建物の中にある、店が提供する宿泊所に寝泊りし、ロンドンにひしめく15万人の労働に従事する青年の一人となりました。

ウィリアムズの生きていた時代は、産業革命によって社会が大きく変革していたころです。合理化が進み、人と人とのつながりが薄れ、孤独や誘惑が青年たちの間で広がっていきます。ウィリアムズは、その状況を憂い、青年が救われてほしいと祈ることから始めます。同じことを憂う仲間が見つかり、やがて彼らは、「お互いの向上のために」聖書のクラスや文学の会を一緒に始めました。

1844年6月6日、ジョージ・ウィリアムズと10人のキリスト者青年は、彼の部屋で行われた会合にて、最初のキリスト教青年会（YMCA）の設立を決めました。ウィリアムズ23歳の時です。彼は、「私たちの目的は、聖書のクラス、家族や社会での祈祷会、相互向上の会、その他信仰の会などを通して、労働に従事する青年たちの精神状態を改善することにあります」と述べました。

1847年まで、ジョージ・ウィリアムズはYMCAの発展に心と魂を注ぎました。YMCAは、ロンドンで貿易や商売に従事する青年のみではなく、その他の青年にも門戸を開き始めました。ヨーロッパで活動していた多くの祈祷会は、YMCAの名のもとに活動するようになりました。フランス、スイス、ドイツ、アメリカ、オーストラリア、南アフリカ、インドなどの他国でもYMCAは発展し始め、明治の文明開化にあわせて日本にもYMCAが誕生し、東京YMCAを皮切りに鹿児島も含めた35都市でYMCAが誕生し、YMCA誕生に大きく関わった方々によって大学や大学の学生寮などが作られ、青年の育成に繋がっていくのです。

ジョージ・ウィリアムズの遺志は今日に至るまで世界各地で受け継がれ、YMCAは青少年が健全に成長していくことを祈り、青少年をサポートしている団体として活動しています。鹿児島YMCAも、13年の歴史の中で、たくさんのユースリーダーが誕生し、青少年育成活動の中心となってきました。コロナの影響によって、ユースリーダーが少なくなりましたが、これからもたくさんのユースリーダーと出会い、育て、鹿児島YMCAの活動の中心になってもらいたいと考えています。若者の意見が反映されない社会だなんて嘆く必要はありません。YMCAにて自分の実現したいこと、世の中に貢献したいことをしてください。それを支えるのがYMCAというところです。

秋季三水会へ参加

11月10～11日熊本YMCA阿蘇キャンプにて秋季三水会に参加しました。各YMCAから若手のメンバーが集まりテーマに沿ったディスカッションや情報交換を行い、交流を図りました。2日目は、熊本地震震災ミュージアム、益城総合体育館等を見学し、震災当時の様子、そこからどのように立て直していったのか等現地の方々からのお話を伺うことができました。6年たった今、そしてこれからの活動を考えていく良き時間となりました。

YMCA事務局 大平さやか

三水会とは

以前、日本YMCでは定期的な研修会を行い、皆が集い学びの場を設けてきました。東日本YMCAは第一水曜日（一水会）、中日本YMCAは第二水曜日（二水会）、西日本YMCAは第三水曜日（三水会）に研修を開催していたことが由来とされています。現在では、西日本地区YMCAの三水会のみが実施されている歴史がある研修会となります。



写真左上：70周年を迎える阿蘇キャンプ

写真上真中：熊本YMCA本館

写真右上：奨励の様子

写真下2枚：旧東海大学 阿蘇キャンパス

第22回YMCA大会

11月25日～27日まで日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘で行われた、YMCA大会にオンラインにて参加いたしました。2年に一度、全国のYMCA関係者が集うYMCA大会。今回のテーマは「refocus the YMCA ～YMCAの今を見つめる～」。YMCAブランドスローガンである「みつかる。つながる。よくなっていく。」日々のYMCA活動ではどのような姿・形で実践されているのか、そこに光を当てる“refocus”する3日間となりました。

中でも、全国YMCAの「日本一」自慢では各地のユースのpowerを感じる発表・内容となっていました。全国にいるYMCAの仲間たちが工夫を凝らしてYMCA活動を行っている様子に私自身も刺激をもらいました。ぜひ次回開催の2024年のYMCA大会は現地で全国で活躍しているYMCAの仲間と集う時間を過ごしたいと思います。

YMCA事務局 大平さやか

YMCA活動報告

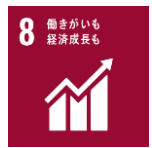
11月6日（日）谷山港ヘリポート付近の清掃活動を朝8：00～9：00まで行いました。鹿児島ワイズメンズクラブをはじめ、法人賛助会の株式会社サナス様、チアダンススクールの子どもたち、保護者の皆様で一齐にゴミ拾い開始！1時間もせずに袋がなくなるほどのゴミが集まりました。この活動を通してこどもたちそれぞれが関心をもち考えるきっかけとなり日々の生活に還元していけたらと思います。

↓親子で参加していただいた福永さんご一家に感想をいただきました！

★清掃活動を通して、たくさんのゴミが捨てられていることが分かりました。清掃活動はなぜあるの？と最初は思っていたのですが、清掃活動が終わった後では、とても心がパッと明るくなりました。みんなのために清掃活動をしていると思っていたけど、自分の心を明るくするためにもあるんだなぁとあらためて分かりました。大人になったらポイ捨てをするのではなくゴミを拾える人になりたいです。（はるか）

★たくさんのごみが捨てられていることにおどろきました。そして、ボランティアの皆さんが、みんなから見られていないのに一生懸命がんばって清掃活動をしていることも驚きました。誰かが見えても、見ていなくてもポイ捨てはしない！ゴミが落ちていたら拾えるように気をつけようと思いました。（ちはる）

★親子で清掃活動に参加して、新しい発見や驚きを同じ目線で共有でき、日常では得られない達成感や連帯感も生まれ、お互いに学びあうことができました。また、「自分の心を明るくするため」や「人が見えても、見ていなくても」と子供の感想からこのような言葉が自然に出てきたことに成長を感じ、嬉しい気持ちになりました。ゴミと一緒にたくさんの気づきを拾うことができ、このような機会を作って頂いたことに感謝します。ありがとうございました。（まいこ（母））



チアダンススクール

◆ クラス紹介・松元校 ◆

ドリームリーダー（荒田夢子）

松元校は水曜日に現あいハウジングアリーナ松元（松元平野岡体育館）2階にて開校。現在ミニクラス7名、ユースクラス4名、ジュニアクラス6名、チャレンジクラス12名が在籍しています。

全面窓がある広い空間で、みんな大きくのびのびと踊っています。特にミニクラス～ジュニアクラスはチャレンジへのステップアップを目指して自主練習に励んでいます。チャレンジクラスのメンバーは普段控えめですが、お手本となるように踊り（表現）で示してくれています！

松元校：水曜日

場所：あいハウジングアリーナ松元（松元平野岡体育館）鹿児島市上谷口町3400

○ミニクラス（16:00-17:00）3歳以上

○ユースクラス（17:10-18:10）3歳～小学生

○ジュニアクラス（18:20-19:20）小・中学生

○チャレンジクラス（19:30-20:30）

リボンテスト9級以上保持者

見学・体験随時お待ちしております！！



◆ CAST Magic紹介 ◆

まるリーダー（新内容子）

2019年に活動開始10年の節目として、競技大会に特化した活動を行うことを目的とした新ユニットCAST Magicを立ち上げました。CASTとはCheer And Spirit Teamの頭文字を組み合わせしており、応援する精神、思いやりや責任感、奉仕の精神を体現できるチームとなることを目標とし、ゴールに向かって努力する事を学んでいます。来年5月の次年度に向け、活動に参加したい方を募集する予定です。今後の情報をぜひチェックしてください！

【 CAST Magic Flame 】

小学4年生から6年生までの9名のメンバーが在籍するFlameは、この2年間コロナの影響をもろに受け、出場経験に恵まれない苦しい時期がありましたが、今年はイベント出演やたくさんの練習を積みながら、腐らずにめげずに技術とチアスピリッツを磨いてきました！最近では技術の成長だけでなく、何事にも積極的に行動する姿に、1人1人の心の成長を実感します。全国大会出場の目標を叶えるべく猛烈に頑張っています。イベントでも気合いの入った演技をぜひご覧ください！



◆ イベント出演 ◆

10月30日（日）は県内3か所のイベント会場を盛り上げてきました！ハロウィン前日ということもあり、演目には仮装をして踊る演出も加わり大盛り上がり♪



Happy Halloween

イオンモール鹿児島
では「ハロウィン
LIVE！×3」が開催！
鹿児島YMCAチアダン
ススクールイオン校と
CAST Magic Nova・
CAST Magic Swimmy
が出演しました！

霧島では鹿児島YMCAチアダンススクール霧島校とCAST Magic Faith・CAST Magic Flame
が出演しました！演技披露だけでなく、会場の皆さん参加型でジャンボリミッキーのダンスを
一緒におどりました。来場していた子どもたちもノリノリで楽しんでいました。



◆ イベント出演 ◆

3年ぶりの参加となるおはら祭！！ダンスオハラ21に鹿児島YMCAチアダンススクール・CAST Magic・鹿児島ユナイテッドFCチアダンススクール生・鹿児島ユナイテッドオフィシャルチアリーダーNavy stars 総勢200名のこどもたちが参加しました。



保護者の方から「チームが一つになり踊れている姿に胸がいっぱいになりました。」と嬉しい声をいただきました。

◆ イベント出演 ◆

鹿児島ユナイテッドFC 2022シーズンホーム最終戦をチアダンスで彩りました！！この日は、今シーズン最多となる約7500名の観客動員となり



NAVY STARS

鹿児島ユナイテッドFCでは、2023シーズンに向けて、オフィシャルチアリーダー「NAVY STARS（ネイビースターズ）」の新メンバーを募集しています。今回はNAVY STARSの新メンバーとあわせて、バックダンサーの募集も行います。



鹿児島ユナイテッドFCオフィシャルチアリーダー

「NAVY STARS」メンバー募集サイト



11/26に東京体育館で行われた第22回全日本チアダンス選手権大会決勝大会Senior（高校生）Pom部門にCAST Magic FaithからIdealの5名が出場しました。結果は部門6位で、惜しくも入賞には届きませんでしたが、新しい振り入れから実戦まで1ヶ月、全国練習も2ヶ月弱という短期間の戦いでよく健闘したと思います。

ここで得たものを活かして、自分達の目標を達成できるように、一つ一つ課題をクリアしていきたいと思います！

引き続き、応援宜しくお願いします！



JCDAの決勝大会に向けて、良い成績を残せるように、全員で行う、アラセゴンや、ジャンプなどを重点的にたくさん練習してきました。

本番は審査員に思いを届けるように、Ideal5人で、精一杯踊りました。結果は6位でとても悔しかったです。自分達も練習を頑張ったけれど、他のチームも頑張っているのも、他のチームよりどれだけ練習を頑張れたかが大切ということ、上位入賞しているチームとの差を改めて実感しました。ミニや、ユースのレベルも高く刺激を受けました。

年々大会のレベルが上がってきていて、今の練習だと戦えないのでこれから、演技を踊り切るだけでなく、揃えられる体力作りや、技を何回やっても成功するように、完成度100%にする練習をしていきたいです。リージョナルズに向けて、この悔しさをバネに頑張りたいです。

CAST Magic Ideal ゆずき



大会に向けて鹿児島県の地から応援メッセージを送るCAST Magicのメンバー！それぞれの想いを受け取って活力にしています！！



【チアダンス競技 Pom部門とは？】

CAST Magicが参加しているチアダンスの競技大会。「Pom部門」に出場しています。

「Pom部門」とはPom（ポンポン）を使用し、スポーツ応援などのシーンに合った内容が求められます。また、揃ったアームモーションやダンス、ラインワークなど、フロア全体を活用した視覚的効果のある構成が求められます。



今月の聖句（ルカによる福音書）

「これがあなたがたへのしるしである」

ルカによる福音書 2章 12節

来月は、キリスト教の最大の行事であるクリスマスがやってきます。YMCAはそのままクリスマスをお祝いする団体ではありません。しかし、YMCAの精神は、やはりクリスマスにお生まれくださったイエス様がなければ、この世に存在しなかったでしょう。

イエス様のお誕生は、マタイ伝とルカ伝に詳しいです。そして、ルカ伝では羊飼いにイエス様のお誕生が知らされます。その時、言われたことは、赤ちゃんである神の子のしるしは「家畜小屋の飼い葉桶に寝せてある」と言う事でした。世界広しといえども、生まれたばかりの赤ちゃんが家畜小屋の飼い葉桶の中にいる、とは珍しいです。羊飼いたちは、ベツレヘムの家畜小屋を調べて回って見つけたのです。

そしてこれは、神様がどこを向いておられるのかを示していました。お金持ちや身分の高い人の下でなくて、家畜小屋に生まれる。貧しい人、苦しむ人、苦難を受ける人と共にある、というしるしだったのです。

鹿児島YMCA運営委員 田淵 亮

インフォメーション

- ・12月3日（土）ふれあいスポーツランド
第13回チャリティーラン
- ・12月10日（土）谷山北公民館
第5回 スキルアップワークショップ
- ・12月18日（日）真砂公園
鴨池校区餅つき大会
(出演：真砂校・Navy Stars)
- ・12月18日（日）市民文化ホール
クリスマスこども大会
(出演：CAST Magic Flame/Swimmy)
- ・1月7・8日
USA Regionals 2023 九州大会
(出場：CAST Magic全チーム・霧島校)

2022年度基本聖句

【ローマの信徒への手紙 8:28】

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、私たちは知っています。



ホームページ



Instagram



Facebook